

平成23年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1472603149	事業の開始年月日	2005, 12, 1
		指定年月日	2006, 4, 1
法人名	日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語 さがみ		
所在地	(〒252-0327) 神奈川県相模原市南区磯部156-1		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		工外数	2工外
自己評価作成日	平成23年10月13日	評価結果 市町村受理日	平成24年5月24日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

相模川のそばに建ち、自然豊かな環境にあり、日々の散歩では、四季の移り変わりを感じながら歩いて頂いております。ホームの裏には、家庭菜園を作り、草取りをしていたり、収穫を楽しんでいただいております。さがみの大風やお月見の行事など、古くからの行事に参加しながら、安全で穏やかな毎日を過ごして頂きますよう、お手伝いさせていただきます。

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成23年10月28日	評価機関 評価決定日	平成24年5月1日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

#### 【事業所の立地・環境】

この事業所はJR相模線下溝駅徒歩10分のところにある。周りに高い建物はなく、畑があちこちにあり、近くには相模川が流れている自然に恵まれた環境の中にある。2階建ての建物には窓がたくさんあり、温かい日差しを浴びて明るい環境の中で過ごすことができる。

#### 【理念に沿った支援】

「利用者一人ひとりに真心をもって笑顔で寄り添う」という介護にあたる心構えを五つの四字熟語「誠心誠意・一期一会・以心伝心・喜怒哀楽・十人十色」で表し理念に掲げて実践につなげている。鍵をかけない介護を心掛け、出入り自由な生活の中で安全でやさしい生活を過ごしていただけることを大切にして、職員は常に利用者の所在を把握し、見守りしている。

ホームの裏に家庭菜園があり、利用者は職員と一緒にそこで草むしりなどの作業をしている。利用者は、収穫したさつま芋を使った様々なおやつを楽しみにしている。

#### 【季節を感じられる生活】

週一回「花守」の方が季節の花を生けにきてくれる。玄関の大きな花器の生け花が来訪者を出迎えてくれる。デイルームのほか共用空間内の様々な場所に新鮮な花が飾られており、利用者は、いつも季節を感じられる環境の中で生活をしている。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語 さがみ
ユニット名	大地

アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	五つの4文字熟語で介護に向かう姿勢を表している。地域密着を示す理念は無いが、地域の方との連携は、大切に思っている。	「利用者一人ひとりに、真心をもって笑顔で寄り添う」という介護にあたる心構えを、五つの四字熟語で表現し事務室やスタッフルームに掲げて、職員に周知させている。新人職員にはオリエンテーションで説明し、スタッフ会で確認して日々の支援に活かしている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事（大凧上げ、盆踊り、消防訓練、お月見等）に参加し、なじみの関係を作るよう心掛けている。日々の散歩も知って頂く機会と思っている。	自治会に加入し、地域の盆踊り、大凧上げ、神社例大祭などを利用者も一緒に見物に行く。昔からの地域の伝統行事である、ハロウィンの日本版のような「お月見くださいな」という行事では、訪ね廻る近所の子供たち50名に利用者がお菓子を配るなど、地域と交流している。地区の防災訓練には職員が参加している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括支援センター主催の地域ケア会議に参加させて頂き、多くの方に、ホームを知って頂くようお話し、ホームとして地域のお手伝いが出来るかを考えて行きたいと思っている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	御入居者の御様子を報告し、皆様の生活を知って頂く良い機会と考えます。ボランティアの協力をお願いすることもある。	運営推進会議は年間6回開催予定である。今年は自治会長・民生委員、地域包括支援センター、家族、管理者・職員の参加で6・7・9・10月に開催した。事業所の状況報告をし、地域から情報を得ている。囲碁、将棋のお相手探しを依頼し、地元のボランティアが来てくれるようになったケースがある。	

5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じ、お電話等で常に、連絡をさせていただいている。今年は、指定更新の年に当たるため、いつもの年より連絡する機会がおおくなっている。	市町村担当者に運営推進会議の議事録や、要介護認定更新書類を提出する際に近況報告をしている。県グループホーム連絡会に加入し、交換研修に参加している。	
---	---	---	--	---	--

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は、玄関の施錠はせず、スタッフには、玄関の開く音に注意することと、常に所在確認を行うようにする。	身体拘束をしないケアについて職員に周知徹底している。玄関は朝9時半から夕方5時までは施錠せず出入り自由に行っている。ユニット入口は、1階は鈴、2階はチャイムを設置し、職員は注意しながら連携して見守り、利用者の動静を見守っている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	防止マニュアルをスタッフルームに用意し、読んでいただくようスタッフ会で話している。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在は、ありませんが、今後必要に応じて行って行きたいと思う。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご入居の契約の際は、契約書を事前にお読みいただき、契約時には、ご質問にお答えして、不安の無いようにご入居いただけるよう対応している。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護計画を送付する際、ご意見をいただけるよう、手紙をつけ、いただいたご意見はスタッフに業務連絡で伝えている。	意見箱がある。家族の来訪時に意見や要望を聞き、来られない方にはケアプランと一緒に返信用紙に意見欄をつけて郵送する。パーベキューなどの行事のあとに年1回家族会を開催している。法人からのアンケート調査に「できるだけ散歩に出してほしい」という要望があり、できるだけ工夫して対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会社からのアンケート（キャリアシート）により、意見・希望等を伝えられる機会を設けている。又、面談の機会を作り、意見等話しやすい環境作りを心掛けている。	職員は、意見や提案を直接管理者に言うこともあるが、毎月のスタッフ会議や、法人からの職員アンケート調査でも表明する機会がある。パート職員の契約更新時の面談で意向の聞き取りをしている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	先月、時給の見直しがありました。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社の資格支援制度を利用し、資格取得を勧めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	社内の他施設見学・情報交換会を通じて、ケアの見直しや振り返りを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、多くの情報をご家族より頂き、入居後の生活に活かせるよう、スタッフに把握してもらう。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	質問や不安については、丁寧な対応を心掛けている。多くのご面会をお願いしている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご入居者・ご家族の希望を基にして、その方が必要としていることは何かを考え、計画を立てるよう心がけている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる事はして頂くを基本に、家事への参加をお願いしている。人生の先輩である御入居者に学ぶ姿勢を大切に考える。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と共に支える姿勢が大事と考える。お話をしにくい内容のことでも、ご家族には知っていただきたいことは、ご家族の気持ちを考えながら、伝えることは必要と思っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族・知人が面会に気軽に訪れて頂けるような雰囲気作りに努め、いらした時は一緒にお茶を楽しんでいただけるよう対応している。	知人が訪ねて来られた時は、ご家族に確認し了解を得た上で、デイルームや居室でお茶を出してもてなし、関係の継続を支援している。電話の取り次ぎや手紙、年賀状を出す手伝いをすることもある。行きつけの美容院には家族が付き添って出かけている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に、入居者の動きには、気を配り、1階と2階の交流も含め、会話を楽しんでいただけるよう支援する。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後も、ご家族が遊びにいらしてくださったことがあり、これからもそのような関係を大切にしていきたいと考える。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者のご希望には、出来るだけ対応していくことが必要と考える。囲碁の相手を希望しておられるご入居者には、ボランティアセンターにお願いし、週1回いらして頂いている。	入居時のアセスメントや、日常の話の中から意向を把握している。意向の把握が困難な方からは表情や態度から把握するようにしている。利用者の様子を観察する中で、話の輪に入りたいたいのに入れないという方がおり、席替えをしたところ、楽しく話せるようになったケースがある。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居時に、ご本人ご家族より多くの情報を頂き、それによりアセスメントを作成し、入居後の生活に活かしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の生活を記録に残し、日勤から夜勤へ、夜勤から日勤へ御様子を申し送ることにより、状態を把握する。又、必要とする介助が違ふ為、日々の状態の変化を共有する。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のスタッフ会でカンファレンスを行い、話し合いの内容は、介護計画の見直しの参考にしていく。4ヶ月に1回及び状態に変化のあった場合に見直しをおこなう。	介護計画は月1回のカンファレンスの際に職員間で話し合い、作成している。家族に送付し意見があれば修正している。4ヶ月に1回見直しを行い、状況に変化があるときはその都度、見直しをしている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の記録には、食事・排泄・水分摂取量・服薬などの基本的情報のほか、日々の変化についても記録に残し、申し送りで情報の共有を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	相談のあった場合には、地域包括センター・居宅へつなげる。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加することにより、昔を思い出し、楽しいひと時を過ごして頂く。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問看護・往診・緊急時の受入を、ひとつの医療機関で受けて頂いているが、数名についてはご家族の希望により、入居前のかかりつけに受診されておられる。	入居前からのかかりつけ医に継続してかかっている方は3名、その他の方は月2回協力医の往診を受けている。訪問看護と訪問歯科は週1回来訪がある。通院は通常は家族が付き添うが、緊急時には職員が付き添っている。	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	御入居者の状態の変化に不安のある場合は、訪問看護に相談し、指示をいただいたり、必要な時は受診をする。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院後は、状態の把握と、ご本人とのなじみの関係を継続する為、お見舞いに伺う。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご入居の時に、指針の説明を通し、お話をし同意をいただいている。</p>	<p>重度化や終末期の指針を定めて入居時に説明し同意を得ている。まだターミナルケアの事例はないが、今後利用者の状況の変化に応じて医師、看護師、本人、家族、職員など関係者で話し合いを重ねていくと共に、職員への研修も進めていく方針である。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時マニュアルを作り、記録ファイルにはさみ、いつでも読めるよう対応している。</p>	/	/
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域包括支援センター主催の地域ケア会議に参加させて頂き、地域の多方面の方とお話をする機会があり、今後もそのような機会にホームを知って頂くとともに、災害避難訓練に参加し、なじみの関係を築く。</p>	<p>避難訓練は夜間想定訓練も含めて年2回、うち1回は消防署立ち会いのもと実施している。スプリンクラー、火災自動通報装置が設置されている。食料、飲料水、備品類の備蓄がある。地域の防災訓練に職員が参加している。</p>	<p>自治会長を通して避難訓練への近隣の協力要請を運営推進会議に働きかけ、地域との協力体制を築くことが望まれます。</p>

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室は、おひとりお一人のお家と考え、居室に入るときは、ノックをしたり、居室外におられる時は、許可を頂き入室する。敬語を使うなど基本的なことは、スタッフ会で時々確認している。	入職時のオリエンテーションで礼儀、や言葉使い、敬語、名前の呼び方など、接遇に関して説明し、スタッフ会で確認している。居室に入る時はノックをし、ひと声かけてから入るようにしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	わかりやすい言葉掛けをするようにしている。また、何かを選ぶ時は、選択肢を少なくして、選びやすい工夫をしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のスケジュールについては、食事とお茶の時間以外は、決めておらず、天気・その日の状態に応じて、散歩・レクなどを楽しんで頂く。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に、理美容に来て頂き、ご希望により、頭髮のカットを受けて頂いている。ご家族がいらして、カットして頂いている御入居者もおられる。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の形態を、常食・一口きざみ・極刻みなど召し上がりやすい状態で提供している。もやしの手取り・テーブル拭き・食器片付けなど、できる事をお手伝いいただいている。	配食の食材を利用しているが 好みによって食材の変更ができ、刻み食などにも対応している。利用者は下ごしらえ、下膳、テーブル拭きなどできることを手伝っている。職員は介助を優先しているので、利用者と一緒に食事を取るかどうかは職員個々の判断に任せている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材配送を利用し、カロリー計算された食事を提供している。主食・副食共に、その方の召し上がりやすい形態と量を考え、提供している。水分量は、記録し、必要量を摂って頂くよう対応している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は、口腔ケアをして頂くよう、促し・介助で対応している。特にお休み前は、義歯をはずし、口の中をきれいにしてから休んで頂くよう対応している。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ひとりひとりの排泄パターンを把握し、その方に応じた介助を行い、記録に残している。	排泄チェック表により排泄パターンを把握しトイレ誘導している。オムツやリハビリパンツの方も時間を見計らってトイレ誘導し、排泄の自立に向けて支援している。リハビリパンツの使用から、ひと冬過ごして布パンツの使用に戻った方がいる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の記録により、水分量・食事量などを参考にして、水分（牛乳を含め）を摂って頂いたり、処方された整腸剤の調節を行っている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	おひとりづつ、スタッフの介助により、入浴していただく。入浴を拒否されたときは、時間をあけて、再度声を掛けて、入浴して頂くよう対応している。	入浴は1日おきに週3回入っている。入りたがらない方へは人を替えて声かけをしている。入浴時は、積極的に職員に話しかける方が多く、職員は聞き役に回る。季節にはしょうぶ湯や、ゆず湯、時には入浴剤を使用して楽しんでいる。同性介助は希望があれば対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	好きなテレビ番組があるときは、ご覧になってから休まれたり、ベッドで休む習慣の無い方は、マットを下に敷いて、休んで頂いている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は、スタッフ全員が把握し、間違えの無いようチェックを行い、薬に変更のある場合は、受診報告・申し送り等で周知する。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	喫煙習慣のある方には、スタッフが付き添い喫煙して頂いている。毎日の散歩・季節の行事・カレンダー作りなど、できる事に参加して頂いている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日の散歩は、天気をみながら、歩行出来ない方には車椅子を使用し、楽しんでいただいている。遠方へのご希望の場合は、ご家族に相談させて頂いている。	天気の良い日は車いすの方を含め、ほとんどの方が散歩に出かけている。週1~2回職員と買い物に行く方もいる。季節によって初詣、花見、いちご狩りやファミリーレストランで外食を楽しむこともある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	欲しい品や必要な品については、ご家族に相談し、買い物にご一緒したり、スタッフが用意するなどしている。お金は、お持ちいただいていないため、立て替えて次月お支払いいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望される方には、暑中見舞いや年賀状を用意し、書いた後、ポストまで一緒することもある。電話も希望のあるときは、掛けて頂いている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関とディールームには、花を飾り、楽しんでいただいている。室温は、常に気を配り、室温計を見ながら、調節をする。月日、曜日を意識して頂く為に手作りカレンダーを作り、掛けている。	「花守」の方が毎週季節の花を生けに来てくれる。玄関の大きな生け花が来訪者を出迎え、あちこちに生けられた花で季節を感じることができる。利用者は窓が多く明るいディールームのソファや廊下のベンチでくつろいでいる。壁には季節感あふれる手づくりのカレンダーやぬり絵、行事の写真が飾られている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の席は決まっているが、それ以外の時間は、ソファ・ベンチ・居室など、お好きな場所でくつろいで頂いている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドは、備えた物を使用しているが、家具については、居室に入る範囲であれば、自由にお持ちいただいている。カーテンは、防災加工した品をお願いしている。	居室には、チェスト、テーブル、リクライニングチェア、テレビなど利用者の使い慣れた家具を置いている。壁には家族の写真や自作のぬり絵などを飾り、居心地のよい部屋作りをしている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全フロアは、バリアフリーとなっており、エレベータを設置。フロア・浴室・トイレには手すりを設置し、安全に移動していただく助けとなっている。		

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	147260314	事業の開始年月日	2005, 12, 1
	9	指定年月日	2006, 4, 1
法人名	日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語 さがみ		
所在地	(〒252-0327) 神奈川県相模原市南区磯部156-1		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		工外数	2工外
自己評価作成日	平成23年10月13日	評価結果 市町村受理日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

相模川のそばに建ち、自然豊かな環境にあり、日々の散歩では、四季の移り変わりを感じながら歩いて頂いております。ホームの裏には、家庭菜園を作り、草取りをしていたり、収穫を楽しんでいただいております。さがみの大風やお月見の行事など、古くからの行事に参加しながら、安全で穏やかな毎日を過ごして頂きますよう、お手伝いさせていただきます。

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名			
所在地			
訪問調査日		評価機関 評価決定日	

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	



事業所名	花物語 さがみ
ユニット名	青空

アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	五つの4文字熟語で介護に向かう姿勢を表している。地域密着を示す理念は無いが、地域の方との連携は、大切に思っています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事（大凧上げ、盆踊り、消防訓練、お月見等）に参加し、なじみの関係を作るよう心掛けている。日々の散歩も知って頂く機会と思います。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括支援センター主催の地域ケア会議に参加させて頂き、多くの方に、ホームを知って頂くようお話し、ホームとして地域のお手伝いが出来るかを考えて行きたいと思っています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	御入居者の御様子を報告し、皆様の生活を知って頂く良い機会と考えます。ボランティアの協力をお願いすることもあります。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じ、お電話等で常に、連絡をさせていただいています。今年は、指定更新の年に当たるため、いつもの年より連絡する機会がおおくなっております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は、玄関の施錠はせず、スタッフには、玄関の開く音に注意することと、常に所在確認を行うようにする。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	防止マニュアルをスタッフルームに用意し、読んでいただくようスタッフ会で話している。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在は、ありませんが、今後必要に応じて行って行きたいと思います。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご入居の契約の際は、契約書を事前にお読みいただき、契約時には、ご質問にお答えして、不安の無いようにご入居いただけるよう対応している。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護計画を送付する際、ご意見をいただけるよう、手紙をつけ、いただいたご意見はスタッフに業務連絡で伝えている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会社からのアンケート（キャリアシート）により、意見・希望等を伝えられる機会を設けている。又、面談の機会を作り、意見等話しやすい環境作りを心掛けている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	先月、自給の見直しがありました。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社の資格支援制度を利用し、資格取得を勧めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	社内の他施設見学・情報交換会を通じて、ケアの見直しや振り返りを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、多くの情報をご家族より頂き、入居後の生活に活かせるよう、スタッフに把握してもらう。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	質問や不安については、丁寧な対応を心掛けている。多くのご面会をお願いしている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご入居者・ご家族の希望を基にして、その方が必要としていることは何かを考え、計画を立てるよう心がけています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる事はして頂くを基本に、家事への参加をお願いしている。人生の先輩である御入居者に学ぶ姿勢を大切に考える。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と共に支える姿勢が大事と考える。お話をしにくい内容のことも、ご家族には知っていただきたいことは、ご家族の気持ちを考えながら、伝えることは必要と思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族・知人が面会に気軽に訪れて頂けるような雰囲気作りに努め、いらした時は一緒にお茶を楽しんでいたように対応している。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に、入居者の動きには、気を配り、1階と2階の交流も含め、会話を楽しんでいただけるよう支援する。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後も、ご家族が遊びにいらして下さったことがあり、これからもそのような関係を大切にしていきたいと考える。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者のご希望には、出来るだけ対応していくことが必要と考える。囲碁の相手を希望しておられるご入居者には、ボランティアセンターにお願いし、週1回いらして頂いている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居時に、ご本人ご家族より多くの情報を頂き、それによりアセスメントを作成し、入居後の生活に活かしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の生活を記録に残し、日勤から夜勤へ、夜勤から日勤へ御様子を申し送ることにより、状態を把握する。又、必要とする介助が違う為、日々の状態の変化を共有する。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のスタッフ会でカンファレンスを行い、話合いの内容は、介護計画の見直しに参考にしている。4ヶ月に1回及び状態に変化のあった場合に見直しをおこなう。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の記録には、食事・排泄・水分摂取量・服薬などの基本的情報のほか、日々の変化についても記録に残し、申し送りでの情報の共有を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	相談のあった場合には、地域包括センター・居宅へつなげる。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加することにより、昔を思い出し、楽しいひと時を過ごして頂く。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問看護・往診・緊急時の受入を、ひとつの医療機関で受けて頂いているが、数名についてはご家族の希望により、入居前のかかりつけに受診されておられる。		
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	御入居者の状態の変化に不安のある場合は、訪問看護に相談し、指示をいただいたり、必要な時は受診をする。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院後は、状態の把握と、ご本人とのなじみの関係を継続する為、お見舞いに伺う。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご入居の時に、指針の説明を通し、お話をし同意をいただいている。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時マニュアルを作り、記録ファイルにはさみ、いつでも読めるよう対応している。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域包括センター主催の地域ケア会議に参加させて頂き、地域の多方面の方とお話をする機会があり、今後もそのような機会にホームを知って頂くとともに、災害避難訓練に参加し、なじみの関係を築く。</p>		

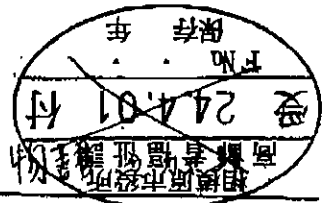
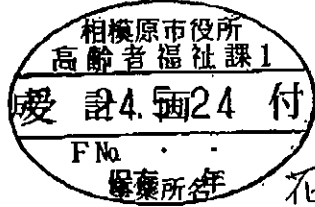
自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室は、おひとりお一人のお家と考え、居室に入るときは、ノックをしたり、居室外におられる時は、許可を頂き入室する。敬語を使うなど基本的なことは、スタッフ会で時々確認している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	わかりやすい言葉掛けをするようにしている。また、何かを選ぶ時は、選択肢を少なくして、選びやすい工夫をしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のスケジュールについては、食事とお茶の時間以外は、決めておらず、天気・その日の状態に応じて、散歩・レクなどを楽しんで頂く。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に、理美容に来て頂き、ご希望により、頭髮のカットを受けて頂いている。ご家族がいらして、カットして頂いている御入居者もおられる。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の形態を、常食・一口きざみ・極刻みなど召し上がりやすい状態で提供している。もやしの芽取り・テーブル拭き・食器片付けなど、できる事をお手伝いいただいている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材配送を利用し、カロリー計算された食事を提供している。主食・副食共に、その方の召し上がりやすい形態と量を考え、提供している。水分量は、記録し、必要量を摂って頂くよう対応している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は、口腔ケアをして頂くよう、促し・介助で対応している。特にお休み前は、義歯をはずし、口の中をきれいにしてから休んで頂くよう対応している。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ひとりひとりの排泄パターンを把握し、その方に応じた介助を行い、記録に残している。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の記録により、水分量・食事量などを参考にして、水分（牛乳を含め）を摂って頂いたり、処方された整腸剤の調節を行っている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	おひとりづつ、スタッフの介助により、入浴していただく。入浴を拒否されたときは、時間をあけて、再度声を掛けて、入浴して頂くよう対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	好きなテレビ番組があるときは、ご覧になってから休まれたり、ベッドで休む習慣の無い方は、マットを下に敷いて、休んで頂いている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は、スタッフ全員が把握し、間違えの無いようチェックを行い、薬に変更のある場合は、受診報告・申し送り等で周知する。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	喫煙習慣のある方には、スタッフが付き添い喫煙して頂いている。毎日の散歩・季節の行事・カレンダー作りなど、できる事に参加して頂いている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日の散歩は、天気をみながら、歩行出来ない方には車椅子を使用し、楽しんでいただいている。遠方へのご希望の場合は、ご家族に相談させて頂いている。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	欲しい品や必要な品については、ご家族に相談し、買い物にご一緒したり、スタッフが用意するなどしている。お金は、お持ちいただいていないため、立て替えて次月お支払いいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望される方には、暑中見舞いや年賀状を用意し、書いた後、ポストまで一緒することもある。電話も希望のあるときは、掛けて頂いている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関とディールームには、花を飾り、楽しんでいただいている。室温は、常に気を配り、室温計を見ながら、調節をする。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の席は決まっているが、それ以外の時間は、ソファ・ベンチ・居室など、お好きな場所でくつろいで頂いている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドは、備えた物を使用しているが、家具については、居室に入る範囲であれば、自由にお持ちいただいている。カーテンは、防炎加工した品をお願いしている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全フロアは、バリアフリーとなっており、エレベータを設置。フロア・浴室・トイレには手すりを設置し、安全に移動していただく助けとなっている。		

目 標 達



作成日

平成24年5月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	自治会長を通じて、避難訓練への近隣の協力要請を運営推進会議に伝えかけ、地域との協力体制を築くことを見込める。	24年度の消防訓練の時に近隣の方に声掛け、参加をお願いする。	運営推進会議で協議して頂き、訓練のさい協力をお願いする。地域の防災訓練に参加する。	1年
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。  
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。